

7月25日(月)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: TOSHIBA
Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマ-ミュージカ

Hobo Nikkan Summer Muza



歌って、飛んで!

笑顔いっぱいのコンサート

7月24日(日)東京ニューシティ管弦楽団「歌おう!オーケストラでファミリーコンサート」 撮影:青柳聡



(左から)指揮者の曾我大介さん、
神崎ゆう子さん

7/24 東京ニューシティ管弦楽団

お客様の声から♪

たのしい、またきたい(4歳・
ようちえん・さつき) / 曾我
さんの指揮かっこいい!!
フィンランディアの演奏をき
いているだけで風景が見えた
気がしました!(15歳・高校生・
うなぎとコントラバス) / 生
「となりのトトロ」がきけて、
とってもぜいたくな気分にな
りました。(40歳・主婦) /
テレビの「題名のない音楽会」
しか知りませんでした。初
めて生で聴くことが出来、大
変うれしく思います。(匿名)
子ども向けではない本格的
なプログラム!オーケストラ
や合唱の魅力を存分に味わ
いました。予想以上の内容で、
近所のお友達ファミリーもお
さそいすればよかった!!と思
いました。(32歳・会社員・
トコロ) / ホールデビューに
最高、まさに「最響」でした。
(39歳・教員・NI) / トルコ
こうしんきょくが大きい音、
小さい音とそれぞれちがった
音だった。また、きておもし
ろいきよくを聞きたいです。
(7歳・みいだゆず)

サマ-ミュージカ最初の日曜日
は、曾我大介指揮、東京
ニューシティ管弦楽団による「歌
おう!オーケストラでファミリー
コンサート」。夏休みに入ったば
かりの子どもと家族はもちろん、
大人ひとりの方や年配の夫妻な
ど幅広い世代が多彩な音楽を楽
しみました。

演奏会は、モーツァルトの交響
曲第1番のみずみずしい音楽で
スタート。この作品はモーツァ
ルトが8歳のときに作曲した、と
司会の神崎ゆう子が語ると、客
席から「僕も8歳!」と声上がり、
この子たちと同じ年頃で作曲し
たモーツァルトの神童ぶりに改
めて感嘆しました。続いて、交
響曲第1番の主題のリズムの話
題になり、ハイドン、ベートー
ヴェンの曲のさわりを経て、客
席の手拍子

とオーケストラとの共演でモ
ーツァルトの「トルコ行進曲」を
演奏。1曲を「弾き」きったあと
は大きな拍手が湧き起こりまし
た。

楽器紹介を兼ねたオーケス
トラ・ストーリーズ「となりのト
トロ」、映画「パイレーツ・オブ
カリビアン」組曲の熱演のあと、
子どもたちお待ちかねの「みな
で歌おう!」コーナー。「ぼよん
行進曲」では「ぼよよよ〜ん」と
歌うところで、子どもと一緒に
指揮者とオーケストラも演奏し
ながら小さくジャンプ!「365日
の紙飛行機」では、客席に手を
振り歌う神崎に、子どもたちは
手を振り返しながら、歌詞も見
ず元気に歌っていました。

最後は、シベリウスの交響詩
「フィンランディア」。曲の背景
やモチーフを解説したのち、全曲

を演奏。一音入魂合唱団による
合唱付きで、曲に込められた思
いが一層伝わる演奏でした。

アンコールは、エルガーの「威
風堂々」第1番。曾我と神崎が
ブラジル、合唱団はさまざまな
国の国旗を振り、まもなく始まる
オリンピックへ気分を高めてコ
ンサートは終わりました。帰り道
の子どもたちは笑顔いっぱい。
またミュージカに来てね!

榎原律子(音楽ライター)



NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ

20代応援団がナビゲート!

7月27日(水) 19:00 開演
東京フィルハーモニー交響楽団
チョン・ミョンフンの情熱
残席わずか、売切御免!

東フィルと固い絆で結ばれたマエストロ、チョン・ミョン
フンがサマ-ミュージカに帰ってくる。世界に冠たるオペラ・シ
ンフォニー指揮者として活躍しつつ、昨年末にはソウル・フィル
と東フィルの合同「第9」コンサートを日韓両国で指揮するな
ど、音楽と社会の繋がりも常に見つめてきたマエストロ。情熱
滾るチャイコフスキーの交響曲第4番に胸が高鳴る。チャイコ
フスキーの名作・ヴァイオリン協奏曲でソロを弾くのは名花
クララ=ジュミ・カン。ヴィルトゥオーゾ的な冴えのみならず、
オーケストラと共に作品の味わいをたっぷり聴かせて
くれるだろう。どなたにも聴いていただきたい、薫り高い一夜。
(平岡拓也 大学生/音楽プロガー)

21世紀を迎えた2001年に新屋日響と合併、そして世界的に
活躍するチョン・ミョンフンを指揮者陣に迎え入れることで東
フィルは新たな時代へ足を踏み入れました。それから15年経
た今年も7月と9月に集中して共演するなど、両者の蜜月関係
はかわらず継続中なのだから嬉しい限り。メインのチャイ4は、
ややもすれば終楽章が空騒ぎになってしまうがちですが、ミ
ョンフンの凝縮度の高い演奏ならハズレ無し。いま世界で注目さ
れるクララ=ジュミ・カンにも期待!(小室敬幸 作曲/音楽学)

明日(7/26)は休刊日です

ミュージアを支える4人の音楽家 ホールアドバイザー

ミュージア川崎シンフォニーホールには、館長を置いていません。そのかわり、日本を代表する4人の音楽家にホールアドバイザーとして主催公演へのアドバイスをいただき、また国内外にホールをアピールする役割を担っていただいています。



(左上から) 秋山和慶 (8/11 東京交響楽団フィナーレコンサート)
小川典子 (8/6 イッツ・ア・ピアノワールド)
佐山雅弘 (7/28 サマーナイト・ジャズ: 写真左)
松居直美 (8/6 真夏のバッハ)

フェスタサマーミュージックでは、それぞれのアドバイザーによる企画公演があります。

佐山雅弘さんとルドルフ・ルッツさんによる「サマーナイト・ジャズ」、7月にドイツの教会オルガンを巡る旅を終えて帰国されたばかりの松居直美さんによる「真夏のバッハ」、英国と日本を拠点に活躍する小川典子さんはステージ上で子どもたちと触れ合う「イッツ・ア・ピアノワールド」、そしてフィナーレを飾るのが秋山和慶さん指揮の東京交響楽団です。さまざまなジャンルの音楽家がアドバイザーとしてミュージアの多彩な主催公演を支えてくださっています。今後どうぞ注目ください！
(広報 ま)

コンサート前のお楽しみ♪

本日は「室内楽コンサート」のある公演です。

18:20~18:35

<フルート四重奏>
フルート：白尾彰
ヴァイオリン：崔文洙
ヴィオラ：井上典子
チェロ：植木昭雄

モーツァルト/フルート四重奏曲
第1番 二長調 K.285

※室内楽コンサートの演奏中に入退場はご遠慮いただいております。



新商品のご紹介

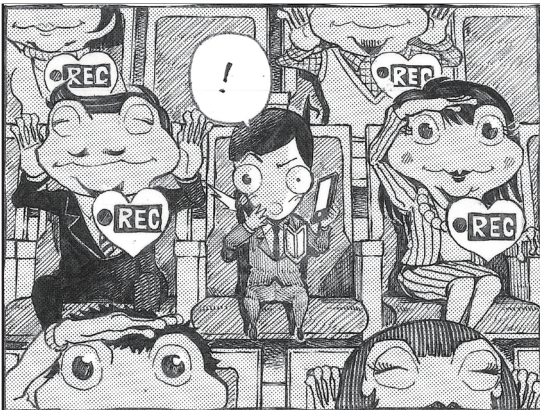
ご要望にお応えして、ミュージアオリジナルのトートバッグができました!!
(小600円)
(大900円)

コンサート ゴアーズへの道

The Road to becoming a Concertgoer

第3回 感動は心の中に……

画：井上孝志
文：ミュージアスタッフ



え?!撮影したらダメなの?スマホでも?—開演中は、NGです!開演中の写真撮影・録音・録画はできません。カメラや電子機器の電源は必ずオフにして鞆の中へ。ぜひ目の前の音楽に集中して、お楽しみください。でも記念に何か残したい、ですよ。ミュージアでは、開場時・休憩中・終演後は自由に撮影OKです。客席から舞台を背にパチリ♪とどうぞ。その際、ほかのお客様のご迷惑にならないように、お気をつけ下さいね。

パートナーショップのご紹介

エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki

海老料理
カワサキ 海老バル

アトレ川崎7階・パートナーショップリストP.15

サマーミュージック特典
チケット提示で10%OFF

※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

まず店内に入ると目に入るのが大きな水槽。中には毎日仕入れという「活けオマール海老」がたくさん。好きな海老を選んで、お客が掴み取りできるのだ。そしたら味付けを選んで調理してもらえる。

メニューは海老を中心に、イタリア料理が6割、タイ料理が4割といったところか。今回は両方を味わうべく「甘海老のカルパッチョ」と、「むき海老・桜海老と青パパイヤとアボカドサラダ、レモングラ

ソースタムタム」を注文。どちらもさっぱりとした味わいで、暑いこの時期にぴったり。あつという間に完食!

今回は「掴み取り」にも挑戦してみよう。
(管理課 す)



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージックオリジナルチケットホルダーをプレゼント!
(~8月11日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪
詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現在会員の方に “最響の水”が当たる!

サマーミュージック公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!
(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします。)

当日の感動をすぐお届け!!



バックナンバーは
ミュージアホームページでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

普段は音楽工房の施設貸出業務がメインの5階受付ですが、サマーミュージックが近づくと様々な問い合わせが無数に届いてきます。公演が聴きたい!〇〇席のチケットを買ったのですが音はどのように聞こえますか?〇〇から来るのだから?など、サマーミュージックの総合チラシを眺めながらご案内する度にワクワクしておりました。それは窓口やお電話からお客様のワクワクが伝わってくるからです。ミュージックでは様々な主催公演がありますが、これほどお客様とスタッフが一体になれる公演はないと思います。受付スタッフもこのサマーミュージックに花を添えられたいとお客様のご案内に努めていきたいと思っております。そして公演にご満足いただけましたらスタッフに「良かったよ」とお伝え頂けたら幸いです。
(下松)

スタ
タ
ッ
フ
日
誌